

石狩オープンパークゴルフ大会兼緑苑台チャンピオン大会

緑苑台版ハンディキャップについて

なぜハンディキャップ制の大会を開催するの？

通常のパークゴルフ大会はスクラッチ（ハンディなし）のストローク戦です。このため、実力の勝負となります。

そこで、ハンディキャップ制を導入することにより、**実力差があっても誰にも入賞するチャンスがある楽しい大会**の参加機会を提供し、より多くの方に生涯スポーツとして継続的に親しむことのできるパークゴルフを普及する目的で開催いたします。

ではハンディキャップの計算は？

はじめに、石狩オープンパークゴルフ大会は36ホールのストロークプレイです。このうち、**24ホール**をハンディ計算の対象ホールとして主催者が予め設定します。もちろん参加者の皆さんには表彰式まで内緒にします。この24ホールを『隠しホール』と言います。

ハンディの計算式

| | | |
|---|-------------|-----------------|
| ① | 隠しホールの合計スコア | |
| | × | 1.5 |
| | <hr/> | |
| | | A |
| ② | A | |
| | - | 96 |
| | <hr/> | |
| | | B |
| ③ | B | |
| | × | 0.8 |
| | <hr/> | |
| | | あなたのハンディ |

成績はどうなるの？

実際のスコアからハンディを引き算して得られた数が成績となります。

$$\text{実際の打数（グロス）} - \text{「ハンディ」} = \text{成績（ネット）}$$

ハンディキャップ制の大会で起こりうる参考例

Aさんは36ホールを108打で終了しました。Bさんは115打。Cさんは130打で終了しました。隠しホールの合計打数は、Aさん60打。Bさん64打。Cさん80打でした。

3名のハンディを左記計算式のとおり計算します。

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{Aさん} \quad \textcircled{1} 60 \text{ 打} \times 1.5 = 90 \quad \textcircled{2} 90 - 96 = -6 \quad \textcircled{3} -6 \times 0.8 = -4.8 \\ \text{Bさん} \quad \textcircled{1} 64 \text{ 打} \times 1.5 = 96 \quad \textcircled{2} 96 - 96 = 0 \quad \textcircled{3} 0 \times 0.8 = 0 \\ \text{Cさん} \quad \textcircled{1} 80 \text{ 打} \times 1.5 = 120 \quad \textcircled{2} 120 - 96 = 24 \quad \textcircled{3} 24 \times 0.8 = 19.2 \end{array} \right.$$

各人の成績を計算します。（ハンディを実際の打数から引きます）

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{Aさん} \quad 108 - (-4.8) = 112.8 \dots\dots 2 \text{ 位} \\ \text{Bさん} \quad 115 - 0 = 115 \dots\dots\dots 3 \text{ 位} \\ \text{Cさん} \quad 130 - 19.2 = 110.8 \dots\dots\dots 1 \text{ 位} \end{array} \right.$$

この結果、順位は1位Cさん、2位Aさん、3位Bさんとなり、必ずしも実際の打数が良かった方が上位になるとは限らないことから、楽しさが増し、入賞の期待がもてます。